

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 27 年度第 4 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日時	平成 27 年 11 月 5 日 (木) 15:00~17:30					場所	日本大学理工学部 駿河台校舎会議室	
部長	大河原 正文	○	★理事	松本 樹典	×	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	×	部員	伊貝 聡司	○	★部員	海野 寿康	×
部員	長田 昌彦	×	★部員	佐藤 毅	○	部員	仙頭 紀明	○
部員	高柳 剛	×	部員	塚本 良道	×	部員	浜田 英治	○
部員	平井 貴雄	×	部員	藤原 照幸	○	部員	宗像 保男	○
オブザーバー	中川 直	×	オブザーバー	竹下 祐二	○	事務局	長尾 美咲 齊藤 あや	○

★：H27 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-27.4.0	平成 27 年度 第 3 回基準部会議事録案
資料-27.4.1	平成 28 年度事業方針・計画（案）、事業の優先度、予算（案）
資料-27.4.2	学会活動の活性化に関する活動報告シート、委員会レビューシート
資料-27.4.3	「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」英訳版利用の件
資料-27.4.4	第 18 回事業企画賞について
資料-27.4.5	「低透水性土質材料の透水試験方法基準化 WG」設立趣意書
資料-27.4.6	JIS 規格票様式の価格
資料-27.4.7	平成 27 年度予算執行状況、売上数・在庫数
資料-27.4.8	基準部所管出版物リスト（ISBN 番号のない出版物）
資料-27.4.9	新規制定基準案「岩石の一軸引張り試験方法」解説案および英訳基準案
資料-27.4.10	新規制定基準「地下水流向流速測定法」英訳基準案
資料-27.4.11	新規制定基準案素案「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」公示原稿案
資料-27.4.12	「動的コーン貫入試験方法規格化 WG」設立趣意書
資料-27.4.13	新規制定基準案「水圧破碎法による初期地圧の測定方法」
資料-27.4.14	地下水調査の試験法で用いる式の再誘導整理について
資料-27.4.15	「動的コーン貫入試験方法」
資料-27.4.16	基準英訳書の宣伝について
資料-27.4.17	基準英訳書の寄贈の連絡文書
資料-27.4.18	平成 28 年度標準化テーマの調査（提案募集）
資料-27.4.19	理事会（H27/10/6、10/28）報告資料
資料-27.4.20	ISO 海外出張
資料-27.4.21	会員からの質問および回答
資料-27.4.22	平成 27 年度第 2 回地盤調査規格・基準委員会議事録案

資料-27.4.23	RI 計器による土の密度試験方法 (JGS1614-2012) について
資料-27.4.24	会員からの質問および回答
回覧資料	井戸理論解 地下水調査のための解説書

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-27.4.0, pp.1-6)
峯岸幹事より、資料に基づき前回議事録(案)について説明があり、原案通り承認された。
2. 全体関係
 - (1) 平成 28 年度事業方針・計画案、予算案、優先度およびコメント (資料-27.4.1, pp.7-20)
大河原部長より、資料に基づき平成 28 年度事業方針・計画案、予算案、優先度およびコメントについて説明があり、平成 28 年度事業方針・計画(案)については原案通り承認された。また、平成 28 年度第一次予算(案)については、収入の部に基準英訳本の寄付金として 300 万円、同英訳本の売り上げとして 100 万円を計上することになった。コメント表については、一部基準の数を修正することで承認された。
 - (2) 事業企画戦略室「活動報告シート」「委員会レビューシート」 (資料-27.4.2, pp.21-23)
大河原部長より、資料に基づき説明があり、原案通り承認された。
 - 理事会審議** (3) 「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」に関する要望 (資料-27.4.3, p.24)
大河原部長より、資料に基づき説明があり、今後の進め方について審議され、まずは三者(JGS、日特、オリコン・国土防災)の意見交換を行い、新たに覚書を作成することが承認された。
 - (4) 第 18 回事業企画賞候補案および審査員選出のお願い (資料-27.4.4, pp.25-30)
大河原部長より、資料に基づき説明があり、基準部からは「基準の英訳化事業」を申請することが検討されていること、審査員は昨年に引き続き峯岸幹事が選出された。なお、「基準の英訳化」事業は、国際部と連名で推薦が出来るか国際部へ打診することになった。(→後日、国際部との話合いから、今年度は申請せず、来年度の検討事項とすることになった。)
 - 理事会報告** (5) 「低透水性土質材料の透水試験方法基準化 WG」設立趣意書 (資料-27.4.5, pp.31-32)
藤原部員より、資料に基づき説明があり、原案通り承認された。
 - (6) JIS 規格の購入 (資料-27.4.6, p.33)
長尾事務局員より資料に基づき提案があり、学会図書館に所蔵がない場合に限り購入することで承認された。
 - (7) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料-27.4.7, pp.34-35)
長尾事務局員より資料に基づき説明があった。
 - (8) 10 月からの丸善委託販売関係 (資料-27.4.8, p.36)
 - ・ ISBN 番号のない出版物の取り扱い
長尾事務局員より資料に基づき説明があり、各 WG に確認をして、廃棄可の回答が得られたものについては、保存用の 1 部を残し、残りは廃棄することになった。
また、今後、新基準を制定した際に、赤本・青本に収録された段階で廃棄とすることが承認された。収録されない場合は、無料公開にするのか、今後の継続審議となり藤原部員が案を作成することになった。
 - ・ 「土質試験 基本と手引き(第二回改訂版)」と土木学会「土質試験のてびき」
2010 年 3 月発行、A4 判、251 ページ、本体価格 1600 円(税込価格 1728 円)、会員特価 1100 円
 - (9) その他
特になし
3. 委員等の異動
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
特になし
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会
特になし
 - (3) ISO 国内委員会
特になし
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
特になし
 - (5) 表記法検討委員会
特になし

(6) 技能試験実施委員会

特になし

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

特になし

(8) 部員の異動

特になし

4. ISO 国内委員会 関係

特になし

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

(1) 新規制定基準案「岩石の一軸引張り試験方法」解説案および英訳基準案

(資料-27.4.9, pp.37-52)

藤原部員より、資料に基づき説明があり、各部員において確認をして、何か気が付く点があれば藤原部員へ申し出ることになった。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

(1) JGS1318-2015(E)新規制定基準「地下水流向流速測定法」英訳基準案 (資料-27.4.10, pp.63-74)

浜田部員より、資料に基づき、地盤調査規格・基準委員会で承認されている旨説明があり、原案どおり承認された。

理事会報告 (2) 新規制定基準案素案「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」公示原稿案 (資料-27.4.11, p.75)

報告事項へ

理事会報告 (3) 「動的コーン貫入試験方法規格化 WG」設立趣意書 (資料-27.4.12, p.76)

浜田部員より、資料に基づき説明があり、原案通り承認された。なお、JIS 化に当たっては、素案作成は WG で行っても良いが、最終原案は、利害関係者（生産者・使用者・中立者）で構成された委員会で議論して合意された原案を申出していただくことが必須であるとの助言が宗像部員よりあった。

理事会報告 (4) 新規制定基準案「水圧破砕法による初期地圧の測定方法」 (資料-27.4.13, pp.77-84)

浜田部員より、資料に基づき説明があり、意見があれば浜田部員へ申し出ることになった。

(5) 地下水調査の試験法で用いる式の再誘導整理 (資料-27.4.14, p.85)

報告事項へ

(6) 会員からの「動的コーン貫入試験方法」公開依頼 (資料-27.4.15, pp.86-107)

浜田部員より、資料に基づき説明があり、ISBN ナンバーを付けて丸善で販売することになった。

なお、印刷部数は 300 部で、販売価格は後日メール審議を行うことになった。

また新基準の「地下水流向流速測定方法」も、同部数にて小冊子化して販売することとした。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

理事会報告 (1) 基準英訳書の価格再考 (基準英訳実行(委)資料)

大河原部長より、理事会で販売価格を再考するようとの意見があった旨説明があり、英訳化委員会で検討したとおり、定価（本体 5,500 円＋税）で販売することになった。

(2) 基準英訳書の宣伝 (資料-27.4.16, pp.108-111)

佐藤部員より、資料に基づき説明があり、HP に掲載して宣伝することになった。また、海外からは Amazon で購入が可能になるようにするとのことであった。

(3) 基準英訳書の寄贈 (資料-27.4.17, p.112)

- 佐藤部員より、資料に基づき説明があり、寄付を頂いた企業、団体には一部ずつ寄贈することになった。
- (4) アジア会議での基準英訳書の贈呈
佐藤部員より、アジア会議で参加する各国の代表者へ贈呈式を行う旨報告があった。

1 1. 基準部所管刊行物

特になし

1 2. その他

(資料-27.4.18, pp.113-115)

長尾事務局員より、資料に基づき説明があり、平成 28 年度に基準化するテーマがある場合は、長尾事務局員へ申し出ることになった。

報告事項

1. 理事会 (H27/10/6, 10/28) 開催報告

(資料-27.4.19, pp.116-125)

大河原部長より、資料に基づき基準部関連の項目について報告があった。

2. 全体関係

特になし

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 27 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・ 土木学会	100 万円		○		
・ 三菱総合研究所 (回答作成)	0 万円		○		
・ 三菱総合研究所 (旧重点TC旅費)	0 万円		○		
・ 日本建設業連合会	50 万円		○		
・ ISO/TC190 関係 (研究委託)	0 万円		○		
・ 三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		840 万円	○		
小計	150 万円	840 万円			
合計	990 万円				

峯岸幹事より、上表に基づき報告があった。

② 国際会議派遣

(資料-27.4.20, p.126)

齊藤事務局員より、資料に基づき報告があった。

(2) 地盤工学表記法委員会

特になし

(3) 室内試験規格・基準委員会

特になし

① 会員からの質問 (三軸試験)

(資料-27.4.21, pp.127-128)

藤原部員より、資料に基づき報告があった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 地盤調査規格・基準委員会 (平成 27 年度第 2 回) 議事録

(資料-27.4.22, p.129-131)

浜田部員より、資料に基づき報告があった。

② RI 計器による土の密度試験方法 (JGS1614-2012) について

(資料-27.4.23, pp.132-133)

浜田部員より、資料に基づき報告があった。

③ 会員からの質問 (試料採取、砂置換法による土の密度試験方法)

(資料-27.4.24, pp.134-136)

浜田部員より、資料に基づき報告があった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

特になし

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

特になし

(8) 英文HP

特になし

(9) 新規制定基準案素案「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」公示原稿案

(資料-27.4.11, p.75)

浜田部員より、資料に基づき報告があった。

(10) 地下水調査の試験法で用いる式の再誘導整理

(資料-27.4.14, p.85)

浜田部員より、資料に基づき報告があった。なお、資料中の WEB 公開については、部会で検討してシステムが完成したら公開できるようにすることになった。

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

●H27 年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	大河原 正文	5/12, 7/21, 9/15, 11/5
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	今村 聡 木幡 行宏 川端 淳一 坂井 宏行 宮田 喜壽	5/8, 7/10, 10/21
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締め固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG13 岩石の一軸引張試験基準化 WG ・WG14 過酸化水素水による土および岩石の酸性化可能性試験方法基準化 WG	川崎 了 (松川尚史) (肴倉宏史) (神谷浩二) (片岡沙都紀) (藤岡一頼) 木幡 行宏 大島 昭彦 谷 和夫 川地 武	6/19, 10/29 7/15 5/14, 7/24, 9/30, 11/6
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 载荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 ・WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準化WG ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG	利藤 房男 斉藤 秀樹 正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏	7/7, 10/8 6/8, 9/25 4/13 5/20, 8/20, 12/10
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平载荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	木幡 行宏 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法検討委員会 ・WG-A	大島 昭彦	
技能試験実施委員会	日置 和昭	7/13

5. その他

- 1) 理事会（平成27年11月24日（火））への審議事項・報告事項
議事録（案）中に朱書きで示している項目を理事会へ上申または報告する。
- 2) 総務部会（平成27年11月16日（月）開催予定）への提案事項
今回は、特になし
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ **27年度第5回： 平成28年1月7日（木） 15:00～**
基準英訳化委員会： 同日 13:30～15:00
(対応理事会 H28.1.26 or H28.2.24)

★ 平成27年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月22日（水） ※書面審議
 - ② 5月15日（金）
 - ★ 6月11日（木） 総会／理事会
 - ③ 6月18日（木） ※書面審議
 - ④ 7月28日（火）
 - ⑤ 10月6日（火）
 - ⑥ 10月28日（水） ※書面審議
 - ⑦ 11月24日（火）
 - ⑧ 12月22日（火） ※書面審議
 - ⑨ 1月26日（火）
 - ⑩ 2月24日（水） ※書面審議
 - ⑪ 3月15日（火）
-
- ⑫ 4月20日（水） ※書面審議
 - ⑬ 5月17日（火）
 - ★ 6月9日（木） 総会／理事会